

山崎小学校
学校だより

あい

岩出市立山崎小学校
令和6年9月12日
No. 10
文責：柏木



「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが

2学期が始まり、2週間がたちました。9月も中旬になりますが、ようやく朝晩は幾分か過ごしやすくなってきたように感じます。とは言うものの、熱中症警戒アラートが出されるような暑さが続いています。

今年の8月を振り返ってみると、本当に暑い日が連日のように続きました。日本の平均気温の基準値（1991～2020年の30年平均値）からの偏差は+1.84℃で、1898年の統計開始以降、去年に次いで、2番目に高い値となりました。（気象庁調べ）今年去年に次いで2番目の暑さということは、去年は今年以上に暑かったということにも驚きました。

ところが、本州最南端の串本町潮岬は、35度を超える猛暑日が、1913年の観測開始以降2日しかないそうです。私は潮岬に住んだことがありますが、和歌山市や岩出市と比べ夏は涼しく冬は暖かかったように思います。同じ和歌山県内でも違いがあることに改めて気づかされました。

さて、「暑さ寒さも彼岸（ひがし）まで」という慣用句があります。夏の暑さ（残暑）は秋の彼岸の入りの頃（9月20日前後）までには和らぐという意味です。因みに、冬の寒さ（余寒）は春の彼岸の入りの頃（3月20日前後）です。それぞれの彼岸の中日を「春分の日」と「秋分の日」と言います。この日は、祝日になっているのでみなさんも聞き覚えがあると思います。

その彼岸の入りまで1週間となりましたが、慣用句の通り彼岸の頃には涼しくなっていることに期待したいです。それまで、帽子の着用やこまめな水分補給（水筒の持参）、適切な休養をとるなどしてください。

「あい」のある学校の風景



【命の授業 4年・6年】



【児童会役員選挙】

中学生職場体験

9月4・5・6日の3日間、岩出中学校の2年生5名が職場体験学習に来ました。

職場体験には、生徒が直接働く人と接することにより、また、実的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感させることが求められています。

また、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲など培うことのできる教育活動として、重要な意味を持っています。

中学生たちは、図書室でポップ作りをしたり、写真のように一輪車の整備、算数の〇付けやタブレットパソコン操作の補助などに取り組みました。体験を終えての感想は、「教えることがこんなに難しいと思わなかった。」「先生たちの仕事がたくさんあって、大変さがわかった。」「小学生と一緒に勉強したり遊んだりして楽しかった。」など話してくれました。5名のうち3名が卒業生であったことから、彼らの成長も見ることができました。



10月の主な予定

- 10月 3日（木）研究発表会準備のため5限終了後下校
- 4日（金）人権教育研究発表会（5限終了後下校）
- 10日（木）社会見学（1～4年）・森林体験（5年）
- 12日（土）愛育会リサイクル活動
- 13日（日）岩出市民運動会
- 14日（月）スポーツの日
- 16日（水）和歌山県学習到達度調査（4・5年）
- 18日（金）クラブ活動（4・5・6年）
- 24（木）・25日（金）修学旅行
- 27日（日）地域防災訓練

行事につきましては、諸般の事情で変更する場合があります。



スクールカウンセラー来校日
3日・10日・17日・24日・31日
各木曜日の11時～15時

やまっこまつり

日 時 11月30日（土）12時～15時
場 所 山崎小学校 各教室、体育館
チケット販売 10月31日（木）、11月1日（金）
※当日販売はありませんのでご注意ください。
※詳細は、後日お知らせします。

